



# 牡丹だより

第9号



～鮮やかな黄色、銀杏の木～

【ホームページ】 <http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



## わらべうた遊び

わらべうたで遊んだことを、覚えていますか？

ある日の保育室で、わらべうたらしき歌声が聞こえてきました。聞けば木村先生が子どもたちのところに遊んだ地元のわらべうたとのこと。子どもたちは、8人が揃うまでのほんのひと時に遊びましたのだそうです。

わらべうたは、大人から子どもへ、子どもから子どもへと長い年月歌い継がれてきた手遊び歌です。音程や歌詞が少しずつ違うこともあります。それぞれの地域で歌い継がれているものです。

わらべうた遊びをする子どもたちは、みんなで歌いながら、手具（今回はゴム）を操作する役と動作をする子どもに分かれて、その役を交代しながら楽しんでいます。二拍子で拍をとり、一人は両手に持ったゴムを左右に開いたり閉じたりします。もう一人は、その動きに合わせてゴムを踏まないように足を開閉し、最後に両足で二本のゴムを踏むという具合です。互いに相手の動きを感じながら遊べるところが楽しいところです。

この最後に二本のゴムを踏むところが難しいようです。飛んだり跳ねたりして、最後に前向きのまま、足でゴムを押さえようとする子、体をひねって足の向きを横にしようとする子など、それぞれに体の使い方を考えている姿が見られました。

わらべうたは、友達と声を合わせる心地よさとともに、体を動かす、足の開脚やひねるなどの動作が加わり、最後までできるように集中して取り組もうとする意欲も増します。また、遊びながら言葉や数を覚えたり、歌と一緒に手足を動かしたりすることで、運動能力やリズム感を培ったりすることにもつながります。さらに、一対一から複数人で遊ぶものまで、いろいろな遊び方が存在します。そこには、楽しく遊ぶためのルールがあります。それを守ることで社会性を学んだり認知機能が刺激されたりして、心と体の調和的な発達を促すうえで幼児期にぴったりの遊びといえます。

ご家庭でも、ぜひ遊んでみてください！



### ～たこさん たこさん～

たこさん たこさん たこあげて  
でんしん ぼしに ひがからた  
どうちゃん かあちゃん とてくれ  
ほしごが ないから とらぬはい  
あしたの いち で がってやる

## 球根を植えました(11/18)



来年の春に花が咲くことを楽しみに、幼稚園の玄関前用、寺山公園用、万代橋用のチューリップの球根を植えました。10個の球根の並べ方にはコツがあって球根の上下を間違えないようにするだけでなく、球根の出っ張っている面と平らな面を、どちらかに揃えて植えるときれいに咲き揃うそうです。子どもたちも確かめながら球根を並べました。



## 修了生からのメッセージ

現在小学四年生の修了生から、メッセージが届きました。牡丹山幼稚園の閉園を知って、幼稚園のころの楽しかったことや好きだったことを手紙にしてくれたのです。ちょっぴり大人っぽい言葉が並ぶお手紙に、子どもたちの成長を感じました。ありがとうございました。



## 製作場面での異年齢交流

あそびんぴくく後、自分の体のどこが動くのかというところに目を向け、自分人形作りが始まりました。年長は関節が動くように割りピンを使う経験。年中は体の部位の糊付けが主ですが、腕と脚を蛇腹折りにする経験をしました。最後に自分の名札をつけるときに年長も年中も、割りピンで動く名札にすることにしました。

目打ちを前に、どうやって使おうかと躊躇している年中さんに、年長さんが手伝ってあげようとする場面がありました。

年中Aさん：「割りピン、こわーい。」

年長Bさん：「割りピンは、刺さらないから大丈夫だよ。」

「刺さるのは、こっち（目打ち）だよ。」

と、目打ちで穴を開けるところを手伝ってあげる年長さんでした。

こうやって自信をもって行動する年長さんと、年長さんにしてもらったことを受け継いでいく年中さんの関係がすてきです。



11月の  
子どもたち

待ちに待った柿  
もぎをしました。  
甘柿に舌鼓！



すこやかタイム(健康)。なぜ  
手を洗うのか？を知りました。



総務員さんのお手伝い！  
落ち葉掃き、楽しいね。



避難訓練の様子。安心・安全メール  
の確認と引き渡し訓練ができました。



すこやかタイム(食育)。今回は黄色(炭水化物)の食材を探  
したり、体のどんな力になるのかを学びました。

